

# アフターサービスについて

## アフターサービス(点検・修理など)を依頼される前に

- 45～49ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。  
確認のうえそれでも不具合のある場合、あるいはご不明の点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
  2. 品名…135-R210・R214・R212・R215・R216・R217・R220・R224・R222・R225・R226・R227・R250・R254・R252・R255・R256・R257・R260・R264・R262・R265・R266・R267・R230・R234・R232・R235・R236・R237・R240・R244・R242・R245・R246・R247・R270・R274・R272・R275・R276・R277・R280・R284・R282・R285・R286・R287  
(品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります)
  3. 現象…できるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

**(N) 135-R210**  
大阪ガス株式会社

## 転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。
- ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりの大阪ガスにご相談ください。  
ただし、ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

## 保証について

- この機器には保証書が付いています。
- 保証書に記載のように、給湯暖房機の故障について修理いたします。  
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害(虫や小動物・雑草などの侵入など)による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。

## 修理用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の保有期間は10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

## アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。



家庭用 BL認定品

## 取扱説明書(保証書付)

# 給湯暖房機 ecoジョーズ

ふる自動・アメニティ機能

全自動タイプ  
自動湯はりタイプ

135-R210・R214・R212・R215・R216・R217  
135-R220・R224・R222・R225・R226・R227  
135-R250・R254・R252・R255・R256・R257  
135-R260・R264・R262・R265・R266・R267

135-R230・R234・R232・R235・R236・R237  
135-R240・R244・R242・R245・R246・R247  
135-R270・R274・R272・R275・R276・R277  
135-R280・R284・R282・R285・R286・R287

リモコンセット138-R005・R007・R008・R009や「見えるラジオ」リモコン138-R333、インターホンリモコンセット138-R006・R303・R312・R316をお使いの場合は、それぞれのリモコンに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

## ご愛用の皆様へ

このたびは大阪ガスの給湯暖房機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- この「取扱説明書」には保証書が付いています。大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

●安全上のご注意	3～9
●機能と特長	10
●初めてお使いのときは、まず…	10
●各部のなまえとはたらき	11～14
●使用方法	15～38
●冬期の凍結による破損防止について	39～42
●点検・お手入れのしかた	43
●長期間使用しない場合は	44
●故障かな?と思ったら	45～49
●機器移設の再設定	50
●主な仕様・能力表	51～54
●アフターサービスについて	57
●保証書	裏表紙

H117-900 (00)  
060908●

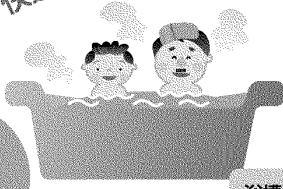


060 00012 56059 6

# 熱源機

環境に配慮した先進性能を標準装備。  
快適な暖房とお湯ライフをお届けする熱源機。

## ふろ



浴槽への自動湯はり・おいだき・たし湯

効率よく無駄のないお風呂沸かしが出来ます。

### 全自動タイプ



ふろ設定温度で、設定水位まで自動湯はり。  
残り湯があるときでも、設定水位まで自動湯はり。



外気温と設定温をチ  
ェックし、湯温が下  
がると自動おいだき。



設定水位より約4cm  
下がると、自動たし湯。

### 自動湯はりタイプ



ふろ設定温度で、設定湯量まで自動湯はり。  
残り湯があるときでも、設定湯量まで自動湯はり。



外気温と設定温をチ  
ェックし、湯温が下  
がると自動おいだき。



「たし湯」スイッチを  
押すだけで、約20L  
のお湯がたされます。

## 給湯



キッチン・洗面所・浴室のシャワー

## 暖冷房 乾燥

床暖房

ファンコンベクター・パネルヒーター

温水式システムエアコン

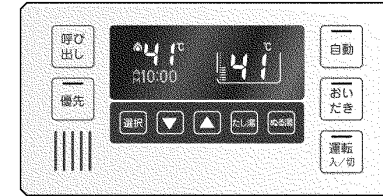
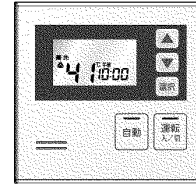
浴室暖房乾燥機

温水式衣類乾燥機（暖房機能付）



ふろ用、給湯用、暖房用、3つのお湯をつくる給湯暖房システム。

台所リモコン：138-R310・138-R315  
浴室リモコン：138-R310・138-R315  
増設リモコン：138-R311



### ●各部のなまえとはたらき

① 時計の合わせかた	15
② 表示の節電設定(セーブモード)の変更方法	16
③ 自動運転のしかた	17
④ ふろ温度の調節方法	19
⑤ ふろ保温時間の変更方法	20
⑥ ふろ湯量(水位)の調節方法	21
⑦ おいだきしたいときは	23
⑧ お風呂をぬるくするには	24
⑨ お湯をふやしたいときは	25
⑩ セルフクリーン機能の使いかた	26
⑪ お好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた	27
⑫ シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節	29
⑬ ゆらぎのシャワーの使いかた	31
⑭ 音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには	33
⑮ 浴室暖房をするには	35
⑯ 浴室暖房をふろ自動運転と連動するには	37
⑰ 暖房の運転音を下げるには	38

使用方法

リモコンセット138-R005・R007・R008・R009や「見えるラジオ」リモコン138-R333、インターホンリモコンセット138-R006・R303・R312・R316をお使いの場合は、それぞれのリモコンに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

# 安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。  
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

## 内容の区分

表示	危険	警告	注意
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

- 傷害：** 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。  
**物的損害：** 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

## 絵表示の意味

一般的な危険 警告 注意	火災注意	一般的な禁止
触れないこと	めれ手禁止	分解禁止
必ず行うこと	電源プラグを コンセントから抜く	必ずアース線を 接続する

# 危険

## ガス漏れに気付いたときの処置

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。 → ②窓や戸を開けガスを外へ出す。 → ③もよりの大阪ガスに連絡する。



# 危険

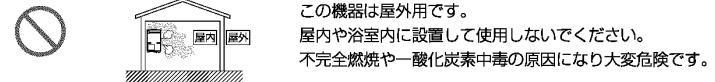
## ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

- 火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止      電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止      ガスのにおいをする場所での電話の使用禁止



ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。  
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

## 屋内設置禁止

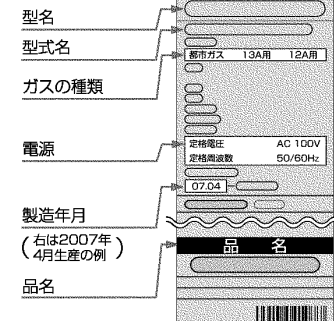


# 警告

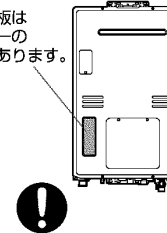
## 機器の銘板を確認

使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50-60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

※下図は銘板の一例です。



この機器の銘板はフロントカバーのここに張ってあります。



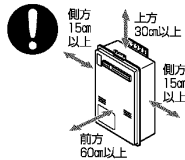
この機器はAC100V(50-60Hz)用です。  
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

# 安全上のご注意

## 警告

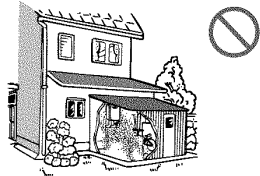
### 火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物は常に右図の離隔距離を確保してください。
- 機器や排気口・排気筒トップが洗たく物などでおおわれないようにしてください。
- 機器および排気口・排気筒トップの周囲には、紙や木材などの燃えやすい物を置かないでください。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないでください。引火して火災の恐れがあります。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲にスプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発する恐れがあります。



### 囲い設置禁止

この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の恐れがあります。



### 機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口・排気口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼の恐れがあります。



### ソーラー接続禁止

この機器は、太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは直接接続しないでください。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをする恐れがあります。



### お子様に対する注意

お風呂を沸かしているとき（浴槽に湯はりしているとき）にお子様を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。入浴中にお様が浴槽に潜ったりしないようにしてください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意が必要です。



### ガス事故防止のために

この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

### 工事は資格必要

この機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。



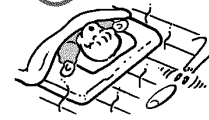
### 機器やリモコンの分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因になります。



### やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの予防のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。また、給湯使用時は給湯栓が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけて、手のひらで湯温を十分に確認してから使用してください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
- 入浴時には浴槽のお湯を十分にかき混ぜてから、必ず手で湯温を確認してから入浴してください。
- お風呂沸かし（沸かし直し）時やおいだし運転中は、循環アダプター付近が熱くなっていますので注意してください。また、保温機能を設定している場合も定期的においだししますので注意してください。
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  - ① 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
  - ② 疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
  - ③ 皮膚や皮膚感覚の弱い方



# 安全上のご注意

## ⚠️ 警告

### ゆらぎのシャワー使用上の注意

●次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。  
体調をくずすことがあります。

- ①妊娠中の方
- ②医者から入浴を禁じられている方
- ③お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- ④高血圧の方
- ⑤体力の弱っている方
- ⑥体調の悪い方



### 機器の異常に気付いたら

- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。
- 異常を感じたときは、「故障かな?と思ったら」(49ページ)に従ってください。  
上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

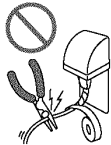


- ①給湯栓をすべて閉める。
- ②運転スイッチを「切」にする。
- ③ガス栓を閉める。



### 電気事故防止

●電源コードを切断して延長はしないでください。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。



●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



●電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因となります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。また、雨が降り出している場合は電源プラグを抜かないでください。感電の恐れがあります。



## ⚠️ 注意

### ご使用上の注意

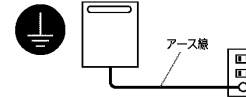
●給湯・シャワー・お風呂沸かし・暖房(乾燥)以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。



●使用中や使用直後は排気口・排気筒トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。



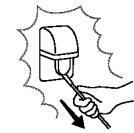
●この機器はアースが必要ですのでアースされていることを確認してください。



●排気口や排気筒トップに指や棒を入れないでください。故障やけがの原因になります。



●電源コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



## ⚠️ お願い

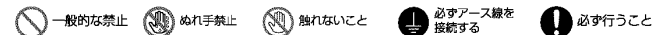
### 機器の設置状態の確認

●機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。

- ①機器は傾いて設置されていませんか?
- ②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか? 正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ③棚の下など落下物の危険はありませんか?
- ④メンテナンスができない場所に設置されていませんか? メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤近隣の家が騒音(燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音など)で迷惑にならない場所に設置してありますか?
- ⑥排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか? 不完全燃焼の原因になります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

- 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 温泉水・地下水・井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。
- この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。



# 安全上のご注意

## ⚠️ お願い

### リモコンの取り扱いについて

- リモコンはお子様がいたらしないように注意してください。思わぬ事故や故障の原因になります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつかます。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。

### ご使用上の注意

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。
- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
- 断水時には運転を停止して給湯栓を閉めてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。また断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。給湯栓から十分水を流してから使用してください。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯(洗面器一杯程度)は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水・調理用水としてお使いください。
- 硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器などが腐食する原因となるものがありますので入浴剤などのご注意文を十分ご参照ください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合は十分に十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 給水・給湯配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。
- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがれないでください。ふさぐと循環不良となり、おふろ沸かしができません。

### 乾電池に関するご注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理をしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

# 機能と特長

<p>給湯も暖房もおふろ沸かしもこれ一台でOKです。</p>	<p>お好きな時刻におふろが沸かせる(または沸かし上げておくことができます)予約運転ができます。 ※台所リモコン設置時のみ</p>	<p>お好みに合わせて「あつめ」(おいだき)や「ぬるめ」(ぬる湯)、また「たぷぷり」(たし湯)のおふろが楽しめます。</p>
<p>お湯の断続使用での湯温安定機能(Q機能)搭載により湯温の安定性を向上させました。(当社比)</p>	<p>「ゆらぎのシャワー」で心と体のリフレッシュ!!</p> <p>※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/4のゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。</p>	<p>リモコンには音声やブザーが付いていますので、おふろ沸き上げ完了を音声でお知らせしたり、浴室から台所などへブザーで呼び出しができます。 ※呼び出しブザーは台所リモコン設置時のみ</p> <p>【お知らせ音については11~14ページの「各部のなまえとはたらき」を、音声については33~34ページの「音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには」をご覧ください】</p>

## 初めてお使いのときは、まず…

- 1 給水元栓を全開にします。

全開にする

機器の下部
- 2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉めます。(すべての給湯栓について)

開ける

お湯の使用場所
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

機器付近の壁・分電盤

注意

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。
- 4 ガス栓を全開にします。

全開にする

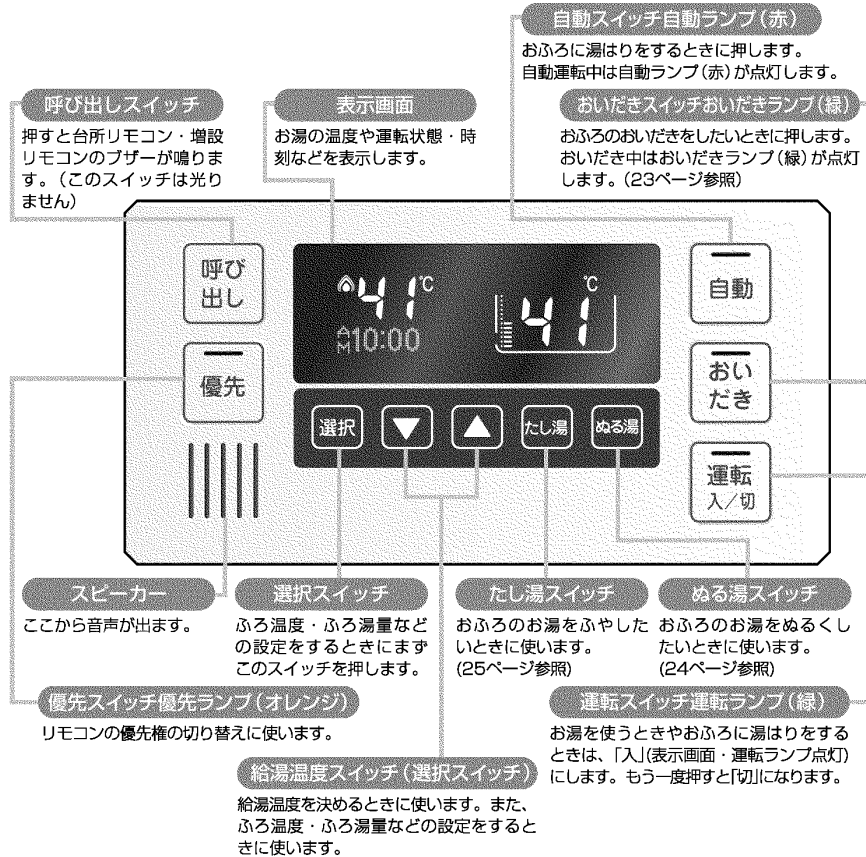
機器の下部



# 各部のなまえとはたらき(浴室リモコン)

## 浴室リモコン (別売品 138-R310・138-R315の浴室リモコン)

- 浴室に設置されているリモコンで台所リモコンとセットで使用するタイプです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

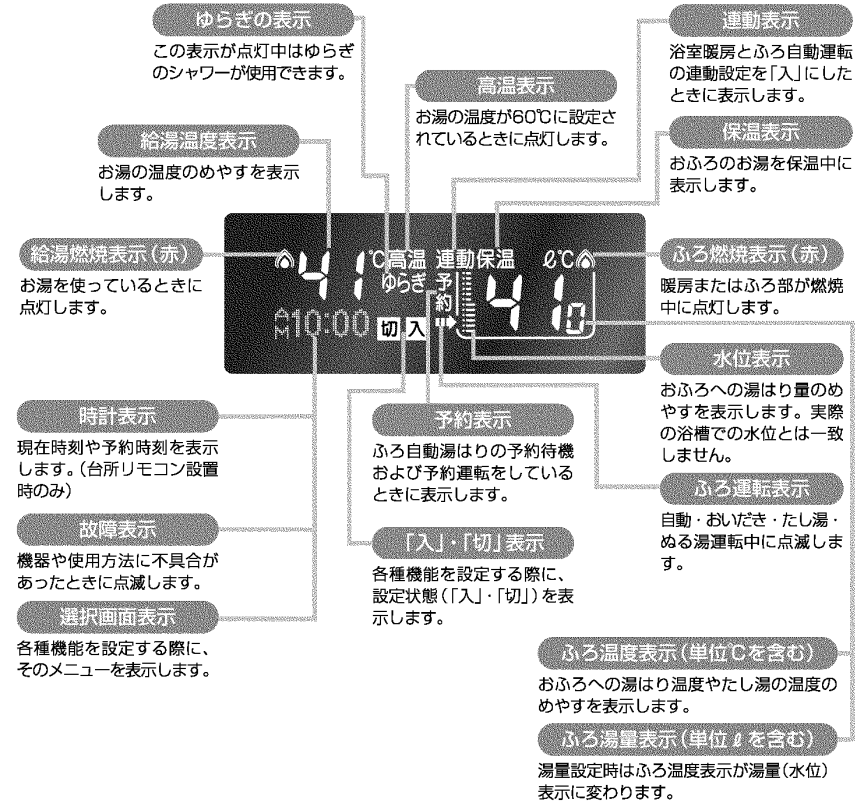


スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。

お願い

## 浴室リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示を確認してください。表示しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

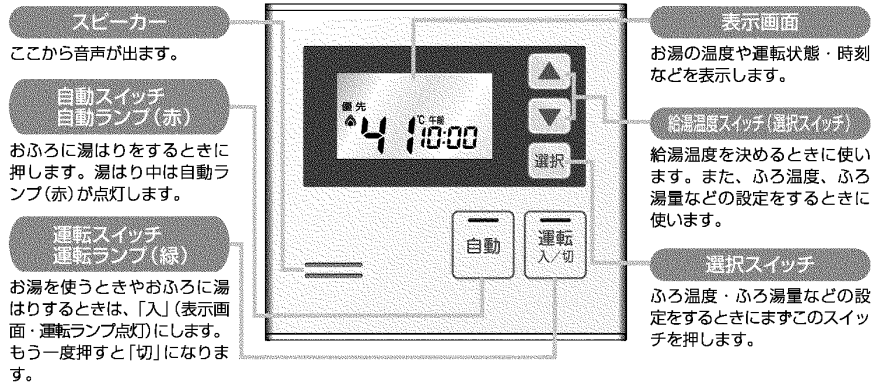


●スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音や音声を確かめてください。

# 各部のなまえとはたらき(台所リモコン)

## 台所リモコン (別売品 138-R310・138-R315の台所リモコン)

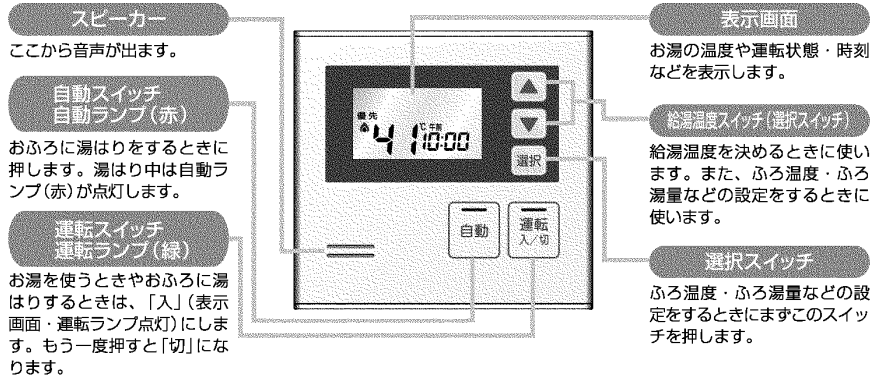
- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ビッ」という操作確認音や音声でお知らせします。



※スイッチ・表示の内容は基本的に浴室リモコンと同様です。

## 増設リモコン (別売品 138-R311)

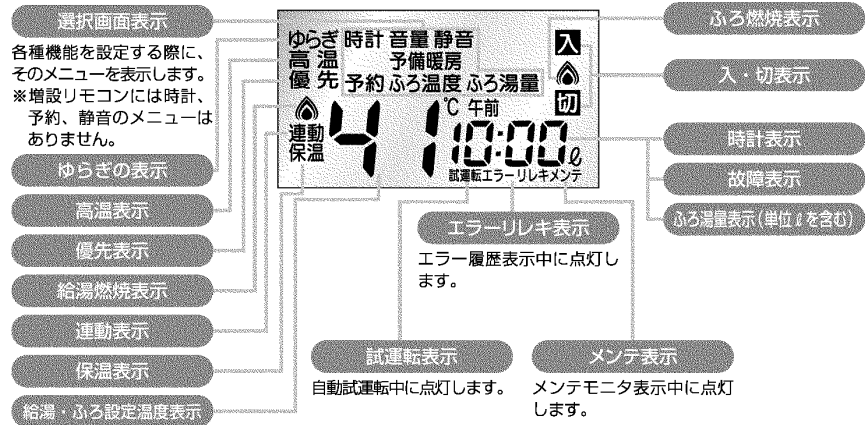
- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もてで給湯温度を変えることができます。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



※スイッチ・表示の内容は基本的に浴室リモコンと同様です。

## 台所リモコン・増設リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示を確認してください。表示しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。
- スイッチ操作後、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、液晶表示部が暗くなります。(省エネのため、バックライトが輝度を落とします)



スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。

●スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ビッ」という操作確認音や音声を確かめてください。

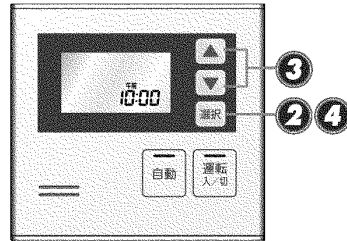


## 使用方法 ①

# 時計の合わせかた

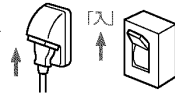
- 台所リモコンで設定します。  
(浴室・増設リモコンにはこの機能がありません)

・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。(予約運転もできません)  
・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

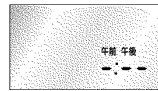


- 1 電源プラグをコンセントに差しします。  
(運転スイッチは「入」にしないでください)

- 電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にする)と、右図の表示が点灯します。  
※運転「切」の状態でのみ設定できます。



台所リモコン



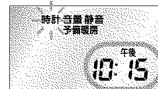
- 2 [選択] スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて [選択] スイッチを押して「時計」を選択します。

- 選択されているメニューは点滅します。



- 3 ▼ または ▲ スイッチを押して、現在の時刻に合わせます。

- ※ ▼ ▲ スイッチを押し続けると、10分刻みで時刻が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



- 4 [選択] スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして、操作が完了します。
- [選択] スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
- ※ [選択] スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。  
※運転スイッチを「切」にすると、台所リモコンでは時刻表示だけが点灯した状態となり、他のリモコンではすべての表示が消灯します。



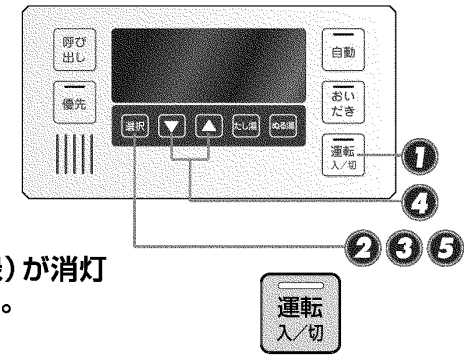
- ・午前と午後を間違えないようにご注意ください。
- ・電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には「」の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

お願い

## 使用方法 ②

# 表示の節電設定(セーブモード)の変更方法

- 浴室リモコンで設定します。  
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)
- セーブモードとは、リモコンの待機電力の低減(省電力)を目的とした機能です。セーブモードが「入」のときは、時間が経過すると自動的に表示画面が消えます。
- お買い上げの際には、セーブモードは「入」に設定されています。セーブモード機能を使用しない場合は、下記の手順で「切」にすることもできます。



- 1 運転スイッチのランプ(緑)が消灯していることを確認します。

- 点灯している場合は スイッチを押します。  
※運転「切」の状態でのみ設定できます。

- 2 [選択] スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

- 3 [選択] スイッチを押して、「セーブ」を表示させます。



- 4 ▼ または ▲ スイッチを押して、「切」を表示させます。



- 5 [選択] スイッチを押します。

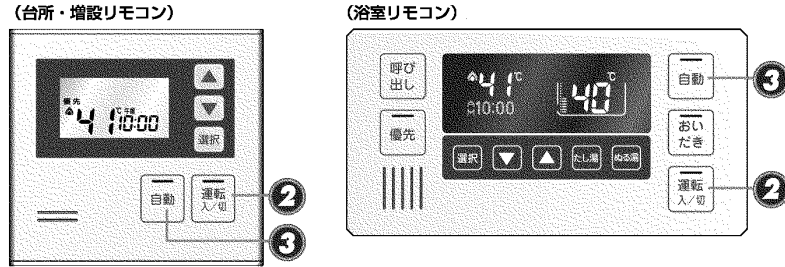
- 「設定しました」とお知らせして設定が完了します。  
※ スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 再度「入」にするときは ① ~ ③ の操作を行った後で、▼ または ▲ スイッチを押して「入」にしてください。

### リモコンの節電機能について (表示の節電)

- ・リモコンの消費電力を極力節電するため、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えて、運転スイッチのランプ(緑)のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先スイッチのランプ(オレンジ)も点灯します。ただし、給湯栓を1度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1度給湯を使用してください。機器を再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。
- ※ ▼ ▲ スイッチ以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
- ・湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電(セーブモード)機能は働きます。
- ・台所・増設リモコンには標準仕様として、スイッチ無操作状態1分経過後に、バックライトを暗くする機能があります。再度スイッチ操作をすると、バックライトの明るさは元の明るさに戻ります。

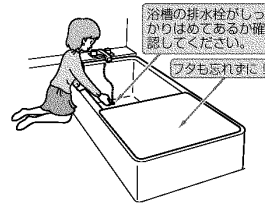
# 自動運転のしかた

●どのリモコンでも操作できます。



## 1 浴槽に排水栓とフタをします。

- お風呂の温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、19～22ページをご覧ください。
- 自動湯はり中には循環アダプターから泡が出てくる場合があります。
- 全自動タイプでは、入浴後運転スイッチが「入」で自動スイッチが「切」のときに浴槽の排水栓を抜くと「セルフクリーン機能」がはたらきます。(26ページ参照)



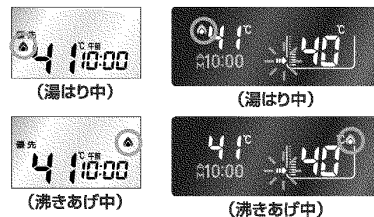
## 2 運転入/切スイッチを押します。

- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に運転スイッチランプが緑色に光ります。



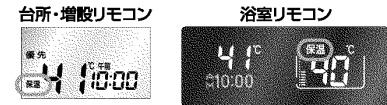
## 3 自動スイッチを押します。

- 音声で「お湯はりをします」とお知らせして自動スイッチランプが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には右図の表示が出ます。
- 湯はり完了の約5分前には、ブザーが鳴り、「残りおよそ5分でお風呂に入れます」とお知らせします。  
(注) 残り湯があるとき、または、ふろ設定湯量(水位)が少ない(5分以内に湯はりが完了する)ときに自動運転をした場合は、完了5分前のお知らせはしません。



- お願い
- 湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れしないでください。
  - 浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチランプ(赤)が消灯していることを確認してから行ってください。
  - 自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
  - 保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、たし湯スイッチ(25ページ参照)を押してください。約20リットルのお湯をたします。

- 湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。



- 保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的(注)においだしし、全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は20ページのふろ保温時間の変更方法で決めます。  
(注) ふろ設定温度や気温などによって異なりますが、約10～40分ごとにふろ温度をチェックして、設定温度よりぬるくなっていれば自動的においだしします。
- 保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチランプ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチを押して消灯させてください。  
※湯はり運転中に給湯(シャワー)を使用した場合、給水温や給水圧などの条件によっては、給湯栓からお湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともあります。(機器の異常ではありません)
- 保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだしスイッチ(23ページ参照)を押すか、ふろ設定温度を上げてください(19ページ参照)。

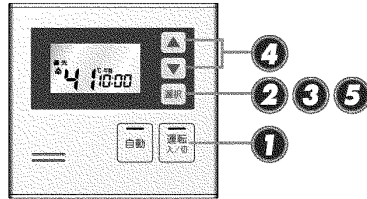
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
- 夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量(水位)まで水はり後おいだし運転を行うことがあります。また、冬期など気温の低い場合では、ふろ設定温度まで沸きあげるのに時間がかかることがあります。  
※上記のような場合は「残りおよそ5分でお風呂に入れます」とお知らせしてから5分以上たっても湯はりが完了しないことがあります。(機器の異常ではありません)
- 前日の残り湯を沸かし直す場合、自動スイッチを使うと湯量かふえ、お湯があふれることがあります。残り湯の量が十分にあるときの沸かし直しは、おいだしスイッチ(23ページ参照)をお使いください。(自動湯はりタイプ)
- 残り湯で循環アダプターがかくれている場合、水位が多少バラツキます。(自動湯はりタイプ)
- 特に残り湯の温度がふろ温度設定に近いときは、約6リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。
- 残り湯で循環アダプターがかくれている場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。(自動湯はりタイプ)

## 使用方法 ④

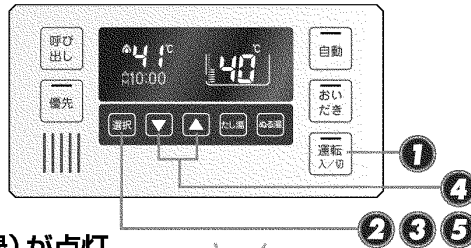
# ふろ温度の調節方法

- どのリモコンでも操作できます。
- お買い上げの際には、ふろ温度は42℃に設定されています。

(台所・増設リモコン)



(浴室リモコン)



### 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、**運転入/切**スイッチを押します。



### 2 **選択**スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

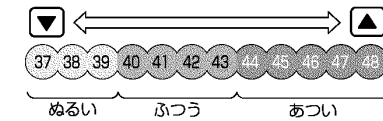
### 3 **選択**スイッチを押して、「ふろ温度」を表示させます。

- 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



### 4 **▼**または**▲**スイッチを押して、ふろ温度を設定します。

- **▲**スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に「ふろ温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。
- **▼**スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に「ふろ温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。
- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。1℃きざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。
- **▼**または**▲**スイッチを押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押ししてください。  
※温度表示はめやすです。



### 5 **選択**スイッチを押します。

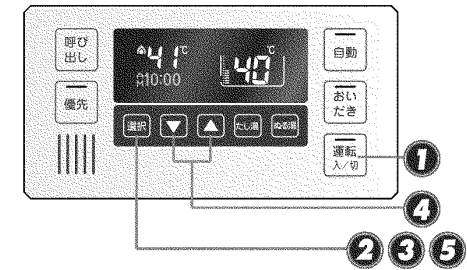
- 設定が完了します。
- ※ **選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。



## 使用方法 ⑤

# ふろ保温時間の変更方法

- 浴室リモコンで設定します。
- お買い上げの際には、ふろ保温時間は4時間に設定されています。



### 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、**運転入/切**スイッチを押します。



### 2 **選択**スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

### 3 **選択**スイッチを押して、「保温」を表示させます。



### 4 **▼**または**▲**スイッチを押して、ふろ保温時間を変更します。

- ふろ保温時間は0・1・2・4・6・8時間の中から選択してください。



### 5 **選択**スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
- ※ **選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。



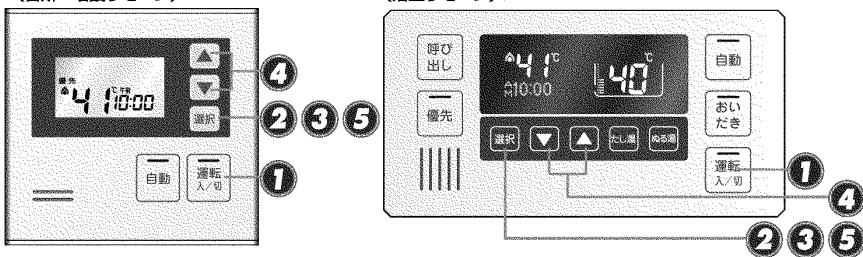
使用方法 ⑥

# ふろ湯量(水位)の調節方法

●どのリモコンでも操作できます。

(台所・増設リモコン)

(浴室リモコン)



## 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、**運転入/切**スイッチを押します。



## 2 選択スイッチを押します。

●選択画面が表示されます。

## 3 選択スイッチを押して、「ふろ湯量」を表示させます。

●台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



## 4 ▼または▲スイッチを押して、ふろ湯量を変更します。



## 5 選択スイッチを押します。

●「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。

※**選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

■全自動タイプと自動湯はりタイプでは表示が異なります。それぞれ次のようになっています。

### 全自動タイプの場合

※全自動タイプでいう湯量(水位)とは、循環アダプター上端から何cm上まで湯はりするかというめやすをいいます。

※はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目になります。この設定の場合、循環アダプター上端から約17cmの位置まで湯はりして自動停止します。ただしこの位置は、浴槽の形状などによってバラつきますので、下記の方法でお好みの水位に設定してお使いください。

●湯量スイッチの**▲**を押すたびに水位表示は1目盛上がり、上がるメロディーでお知らせします。また、**▼**を押すたびに1目盛下がり、下がるメロディーでお知らせします。1目盛で水位が約2cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環アダプター上端から約7cm上、最高で約29cm上になります。ただし浴槽によっては、高い水位に設定するとお湯があふれることがあります。

機器本体が和バス(洋式バス以外の浴槽)用の設定になっている場合、水位を下から6番目に設定すると循環アダプター上端から約25cm上まで湯はりします。1目盛は約3cmになります。

### 自動湯はりタイプの場合

※自動湯はりタイプでいう湯量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。

※はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目で示されます。

●**▲**を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。このとき、上がるメロディーでお知らせします。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには、**▲**スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき水位表示は表示されません。

●湯量スイッチの**▼**を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。このとき、下がるメロディーでお知らせします。ただし、80リットルや60リットルに設定するときには**▼**スイッチを1秒以上押し続けてください。

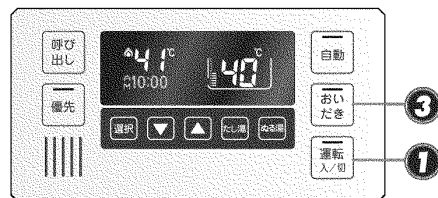
湯量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	1
60	1

▲を押すとふえる  
初期設定  
▼を押すとへる

## 使用方法 ⑦

# おいだきしたいときは

●浴室リモコンで操作します。  
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



**1** 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、スイッチを押します。

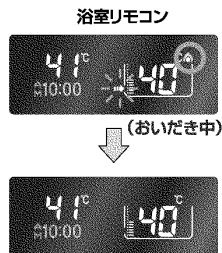


**2** 浴槽に、アダプターの上までお湯(水)が入っていることを確認します。

**3** スイッチを押します。

- 「おいだきをしませう」とお知らせするとともに、おいだきスイッチのランプ(緑)が光り、ふろ温度にかかわらず約5分間おいだきしますので、ふろ設定温度以上になる場合があります。
- 途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押して、おいだきスイッチのランプを消灯させてください。

※水から沸き上げる場合など、約5分経過してもふろ設定温度にならない場合は、ふろ設定温度までおいだきします。



おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくる場合があります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときにおいだきスイッチを押すと…

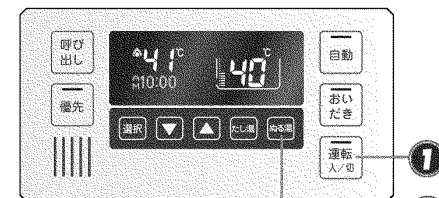
- ・自動湯はりタイプは浴槽に約6リットル湯はりしますが、おいだきスイッチは消灯しておいだき運転に入りません。
- ・全自動タイプは浴槽に約6リットル湯はりした後自動運転に切り替わり、おいだきスイッチのランプが消灯して自動スイッチのランプが光ります。この後は、17ページの自動運転と同じ動作(湯はり・保温)に入りますので、途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。

※この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

## 使用方法 ⑧

# お風呂をぬるくするには

●浴室リモコンで操作します。  
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



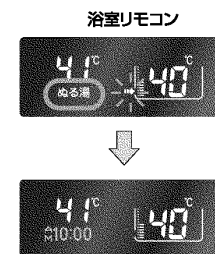
**1** 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、スイッチを押します。



**2** スイッチを押します。

- 「水をたします」とお知らせするとともに、ぬる湯運転を開始します。
- ※浴槽に約10リットル注水します。  
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく動きます)
- ※ぬる湯運転中は右図のぬる湯表示をします。
- 途中で止めたいときは、スイッチを押します。ぬる湯運転が止まり、ぬる湯表示が消えます。
- ※ぬる湯運転が終わると、ぬる湯表示が消えます。



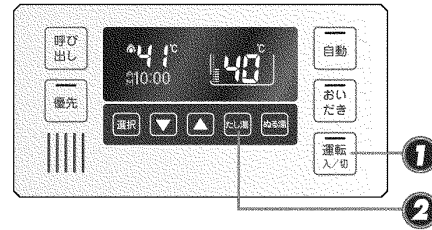
- ・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(31ページ参照)点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
- ・ぬる湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、ぬる湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓からは水が出ることもあります。
- ・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。



## 使用方法 ⑨

# お湯をふやしたいときは

- 浴室リモコンで操作します。  
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



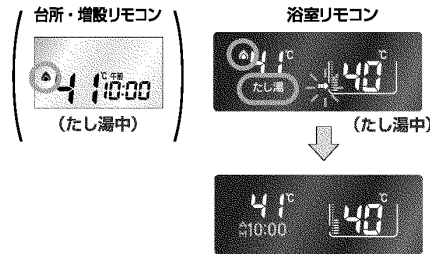
## 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、スイッチを押します。



## 2 スイッチを押します。

- 「お湯をたします」とお知らせするとともに、たし湯運転を開始します。  
※浴槽にふる設定温度のお湯約20リットルを湯はりします。  
(この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます)
- ※たし湯運転中は右図のたし湯表示と給湯燃焼表示をします。
- 途中で止めたいときはスイッチを押します。たし湯運転が止まり、たし湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
- ※たし湯運転が終わると、たし湯表示と給湯燃焼表示が消えます。



- ・給湯(シャワー)使用中や「ゆらぎ」の表示(31ページ参照)点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
- ・たし湯運転中に給湯(シャワー)使用すると、たし湯運転は一時中断されます。このとき湯温からはふる設定温度のお湯が出ることもあります。
- ・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出る場合があります。
- ・高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

## 使用方法 ⑩

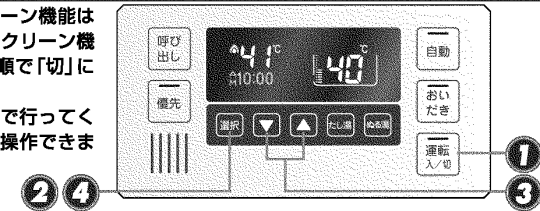
# セルフクリーン機能の使いかた

- 全自動タイプの機器の場合のみご利用いただけます。  
※セルフクリーン機能とは、全自動タイプで自動運転や予約運転でお風呂を沸かした後にお風呂のお湯を抜くと、ふる配管内に残ったお湯を自動で洗い流す機能です。

- 1 自動運転(17ページ参照)または予約運転(27ページ参照)でお風呂を沸かします。
- 2 運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」になっていることを確認します。  
●自動スイッチが「入」になっている場合は、自動スイッチを押して、「切」にしてください。
- 3 浴槽の排水栓を抜きます。
- 4 約5リットルのお湯が出てふる配管内のお湯を押し流します。

- ・運転スイッチを「切」の状態に残り湯を排水すると「セルフクリーン機能」ははたらきません。
- ・前日から運転スイッチが「入」のままであれば、翌日排水栓を抜いても「セルフクリーン機能」ははたらきません。
- ・セルフクリーン運転中は、表示画面に自動運転の湯はり中と同じ表示が出ます。
- ・セルフクリーン運転中にお湯を使うと、セルフクリーン機能は解除されます。
- ・自動スイッチを「切」にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽の排水栓を抜くのはポンプ停止後(循環アダプターからお湯が出なくなってから)にしてください。セルフクリーン機能が動かない場合があります。

- お買い上げの際には、セルフクリーン機能は「入」に設定されています。セルフクリーン機能を使用しない場合は、下記の手順で「切」にすることもできます。  
※以下の操作はすべて浴室リモコンで行ってください。台所・増設リモコンでは操作できません。



## 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

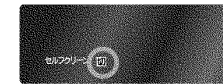
- 点灯していない場合は、スイッチを押します。



## 2 スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けてスイッチを押して「セルフクリーン」を表示させます。



## 3 またはスイッチを押して、「切」を表示させます。



## 4 スイッチを押します。



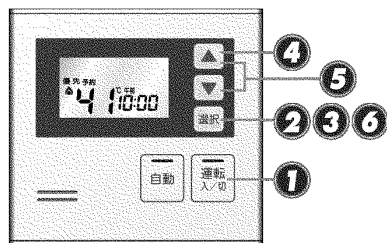
- 「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。  
※スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 再度「入」にするときは、1～2の操作を行った後でまたはスイッチを押して「入」にしてください。



## 使用方法 ①

# 好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた

- 台所リモコンで設定します。  
(浴室・増設リモコンにはこの機能がありません)
- 必ず現在時刻設定を行ってから操作してください。(15ページ参照)



## 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 点灯していない場合は、**①**スイッチを押します。



## 2 **②**スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

## 3 **③**スイッチを押して、「予約」を選択します。

- 選択されているメニューは点滅します。



## 4 **④**スイッチを押します。

- 時刻設定モード(「入」が点滅)になります。

## 5 **⑤**または**④**スイッチを押して、予約時刻(湯はり完了時刻)を設定します。

- ※ 予約時刻のセット方法は、15ページの時計合わせかたの**③**を参照ください。(午前・午後に注意！)

- 右図は午前7時30分に湯はり完了したい場合の例です。

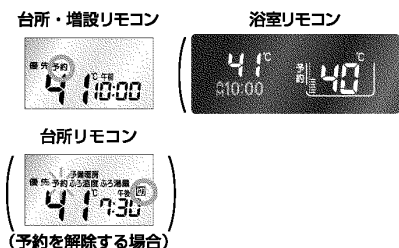


- ・浴室リモコンのみ設置の場合は予約運転はできません。
- ・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内になると、浴槽が大きいときや機器への給水圧が低いときなどに、予約時刻になってもお風呂への湯はり完了しないことがあります。

# 予約運転」のしかた

## 6 **⑥**スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして、操作が完了します。
- ※ **⑥**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
- 予約を解除するときは、**①**～**③**の操作を行った後、**⑥**スイッチを押して「切」にしてください。



## 7 浴槽に排水栓とフタをします。

- ※ 運転スイッチは「切」にしないでください。「予約」が消え、予約運転がキャンセルされます。



- ※ 残り湯があるときやふる設定湯量(水位)が少ないときに予約運転をした場合、湯はり完了5分前のお知らせはしません。また、自動湯はりタイプをお使いの場合、残り湯で循環アダプターがかくれている状態で予約運転を行うと、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。



- ※ 湯はり完了して予約した時刻になるとメロディが鳴り、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。このとき表示画面には、上図のような「保温」の表示が出て保温運転に入ります。(保温時間については20ページ参照)

- (注) 予約運転の場合は、予約時刻の約30分前から湯はり運転を開始します。なお、浴槽の大きさや設定湯量・湯はり温度・給水圧・給水温などの条件によっては、湯はり完了時刻と予約時刻がズれることもあります。異常ではありません。

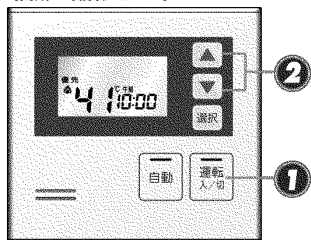
- ・**⑥**の操作で決めた予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。予約時間を確認したいときは、**①**～**③**の操作を行ってください。
- ・毎日同じ時刻に湯はり(お風呂が沸かし)をする場合は、予約時刻の30分以上前に、毎日**①**～**③**および**⑥****⑦**の操作を行ってください。
- ・この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

- ※ 浴槽に残り湯があるときに予約運転を行うと、お風呂の沸きあがり時刻に大きなパラツキが出る場合がありますが異常ではありません。

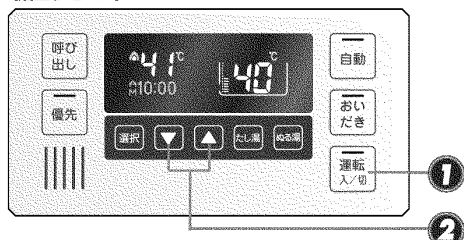
# シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

●どのリモコンでも操作できます。

(台所・増設リモコン)



(浴室リモコン)



## 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

点灯していない場合は、 スイッチを押します。運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示または、優先スイッチランプ(オレンジ)が点灯します。



## 2 ▼または▲スイッチを押して、給湯温度を設定します。

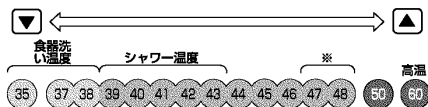
●▲スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に「給湯温度を〇〇℃に設定しました」とお知らせします。また、▼スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に「給湯温度を〇〇℃に設定しました」とお知らせします。

●▼または▲スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

※調節できる温度は35℃～60℃の15段階です。

1回スイッチを押すたびに1段階ずつ変わります。

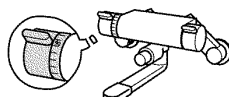
右図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。



※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。

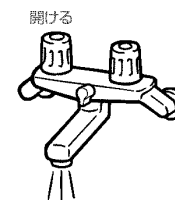
※給湯設定温度を60℃にセットすると「あついお湯が出ます」「給湯温度を60℃に設定しました」とお知らせし、表示画面に「高温」を表示して注意を促します。

※サーモスタット式水栓をご使用の場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度(ハンドルの温度)より高めにご設定ください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。



サーモスタット式水栓の例

●給湯栓を開くとお湯が出ます。  
※お湯を使っている間は、表示画面に右図のような燃焼表示をします。  
※湯量を絞るすぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。



浴室リモコン



台所・増設リモコン



- お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 湯量が給湯能力以上の場合、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出る場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- 給水温度が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
- リモコンから出る音声について詳しくは34ページをご覧ください。
- 湯はり中は、リモコンの表示とは異なる温度のお湯が出る場合があります。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出る場合がありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
- 停電復帰時は運転スイッチが入っていない状態になり、その後運転スイッチを入れたリモコンに優先が移ります。このとき、それぞれのリモコンの温度設定は停電前と同じ設定です。

### 警告

- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこのリモコンの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態でお湯を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

### ? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できないときは?

●給湯温度が調節できるのは、表示画面に「優先」の表示が出ているもしくは、優先スイッチランプ(オレンジ)が点灯しているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐため、「優先」表示をしていないリモコンで▼▲スイッチを押すと、「給湯温度は変更できません」とお知らせします。

●優先権を切り替えるには、浴室リモコンの優先スイッチを押します。  
優先スイッチを一回押すたびに、優先権が「浴室リモコン」→「台所・増設リモコン」→「浴室リモコン」……と交互に切り替わります。

台所・増設リモコンの表示画面



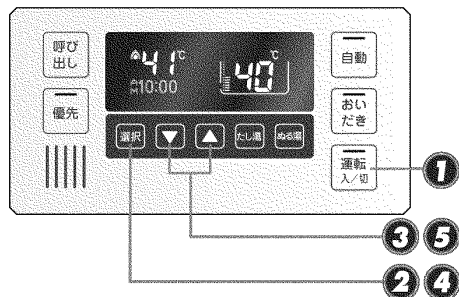
優先表示



浴室リモコン優先のときは優先スイッチランプがオレンジ色に光ります。

# ゆらぎのシャワーの使いかた

●浴室リモコンで操作します。  
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)



**1** 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、**運転**スイッチを押します。



**2** **選択**スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて**選択**スイッチを押して「ゆらぎ」を表示させます。



**3** **▼**または**▲**スイッチを押して、「入」を表示させます。



**4** **選択**スイッチを押します。

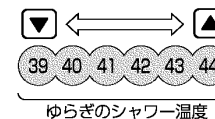
- 「設定しました」とお知らせして設定が完了します。
- ※**選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。
- 設定完了後に表示される「ゆらぎ」は約15分で自動的に消えます。



・この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

**5** **▼**または**▲**スイッチを押して、シャワーの温度を設定します。

- 設定できる温度は39℃～44℃の6段階です。
- ※給湯設定温度が右記以外の際に**▼**または**▲**スイッチを押すと、設定温度が35℃・37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。



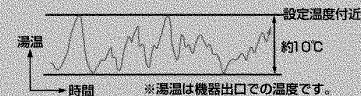
## 警告

- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
  - ・妊娠中の方
  - ・医者から入浴を禁じられている方
  - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
  - ・高血圧の方/体力の弱っている方/体調の悪い方

## 注意

- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。  
なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

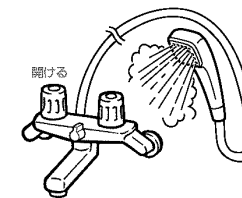
・ゆらぎのシャワーとは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。



・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止、全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざまし促進にも有効です。

**6** シャワー栓を開いてゆらぎのシャワーを出します。

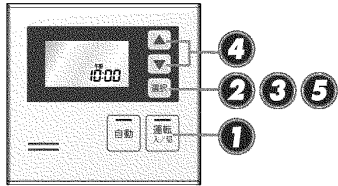
- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は**5**で設定した温度のお湯が出ます。
- シャワー栓を閉めると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎの表示が消えます。
- ※ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。



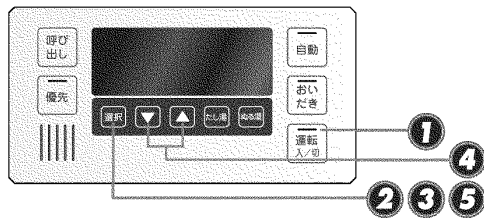
# 音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには

●各リモコン別々に設定することができます。

(台所・増設リモコン)



(浴室リモコン)



## 1 運転スイッチのランプ(緑)が消灯していることを確認します。

- 点灯している場合は「**運転**」スイッチを押します。
- ※運転「切」の状態でのみ設定できます。



## 2 「選択」スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

## 3 「選択」スイッチを押して、台所・増設リモコンの場合は「音量」を選択し、浴室リモコンの場合は音量設定画面を表示させます。

- 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



## 4 ▼または▲スイッチを押して、音量を変更します。

- 音声はお買い上げの際には中(標準)にセットされています。
- 特に、音声と湯はり完了の音楽の音量については、下表のように変わります。

ロケーション	▼▲スイッチを押したときお知らせする音声	台所・増設リモコンの表示	浴室リモコンの表示	音声	湯はり完了の音楽
▲を押す	(ビップ) 音声は大です	3	音声 大	大	大
初期設定	(ビップ) 音声は標準です	2	音声 中	中	中
▼を押す	(ビップ) 音声は小です	1	音声 小	小	小
▼を押す	(ビップ) 音声を消します	0	音声 消	なし	中(プザー音)
▼を押す	(ビップ) 音を消します	—	音 なし	なし	なし

- 音声および音を消しても、注意を喚起する音声およびプザー音だけは消すことはできません。ただし、増設リモコンについては「音なし」に設定するとプザー音は鳴りません。

## 5 「選択」スイッチを押します。



●各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。( )内は同時に出る電子音など、○○℃は設定される温度

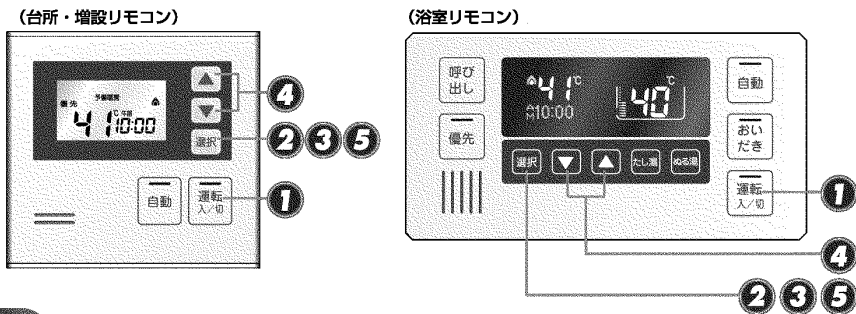
操作するスイッチ・条件など	浴室リモコンから出る音声	台所・増設リモコンから出る音声
運転(「入」にする)	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき (ビップ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
浴室→台所へ優先切替	給湯設定温度変化なし 台所60℃ 60℃以外 (ビップ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
優先	給湯設定温度変化あり 台所60℃ 60℃以外 (ビップ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
台所→浴室へ優先切替	給湯設定温度変化なし 浴室60℃ 60℃以外 (ビップ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
給湯温度▲	浴室リモコン優先のとき (上がるメロディー)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
給湯温度▼	浴室リモコン優先のとき (下がるメロディー)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
給湯温度▼または▲	浴室リモコン優先のとき スイッチを押したとき 給湯温度は変更できません	お湯はりをします
自動	湯はり 終了5分前 音量設定音声が 終了時 (ビップ)お湯はりをします	(ビップ)残りお湯を5分でおふろに入れます
おいだき	スイッチを押したとき (ビップ)おいだきをします	(ビップ)残りお湯を5分でおふろに入れます
たし湯	スイッチを押したとき (ビップ)お湯をたします	(ビップ)残りお湯を5分でおふろに入れます
ぬる湯	スイッチを押したとき (ビップ)水をたします	(ビップ)残りお湯を5分でおふろに入れます
ゆるぎのシャワー ※	▼または▲ (ビップ)	(ビップ)残りお湯を5分でおふろに入れます
ふる温度 ※	▲ ▼ (上がるメロディー)ふる温度を○○℃に設定しました (下がるメロディー)ふる温度を○○℃に設定しました	(上がるメロディー)あついお湯が出ます
湯量 ※	▼ ▲ (上がるメロディー)	(下がるメロディー)
ふる保温時間・暖房・連動セルフクリーン ※	▼または▲ (ビップ)	(上がるメロディー)
音量 ※	▲を押す 初期設定 ▼を押す ▼を押す ▼を押す 音 大 音 中 音 小 音 消 音 なし	(ビップ)音は大です (ビップ)音は標準です (ビップ)音は小です (ビップ)音を消します (ビップ)音を消します
呼び出し	押し続けている間 (ビップ)押し続けている間	(ビップ)押し続けている間

操作するスイッチ・条件など	台所・増設リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声
運転(「入」にする)	給湯温度が60℃以外 給湯温度が60℃のとき (ビップ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
給湯温度▲	台所・増設リモコン優先のとき (上がるメロディー)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
給湯温度▼	浴室リモコン優先のとき (下がるメロディー)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
給湯温度▼または▲	浴室リモコン優先のとき スイッチを押したとき 給湯温度は変更できません	あついお湯が出ます
自動	湯はり 終了5分前 音量設定音声が 終了時 (ビップ)お湯はりをします	(ビップ)残りお湯を5分でおふろに入れます
ふる温度 ※	▲ ▼ (上がるメロディー)ふる温度を○○℃に設定しました (下がるメロディー)ふる温度を○○℃に設定しました	(上がるメロディー)あついお湯が出ます
湯量 ※	▲ ▼ (上がるメロディー)	(下がるメロディー)
音量 ※	▲を押す 初期設定 ▼を押す ▼を押す ▼を押す 音 大 音 中 音 小 音 消 音 なし	(ビップ)音は大です (ビップ)音は標準です (ビップ)音は小です (ビップ)音を消します (ビップ)音を消します
時計設定・ふる予約 ※	▼または▲ (ビップ)	(上がるメロディー)
静音・予備暖房 ※	▼または▲ (ビップ)	(上がるメロディー)

※この操作項目は選択画面にして設定する項目です。▼▲スイッチで変更する際に音声ガイダンスがある項目以外は、**選択**スイッチを押して設定確定後に「設定しました」とお知らせします。

# 浴室暖房をするには

- どのリモコンでも操作できます。
- 給湯暖房機のリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を開始することができます。



## 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

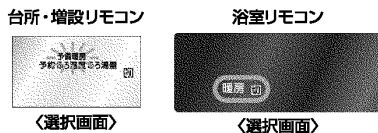
- 点灯していない場合は「**入**」スイッチを押します。
- ※台所リモコンでは運転「切」でも設定できます。

## 2 **選択**スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

## 3 **選択**スイッチを押して、台所・増設リモコンの場合は「予備暖房」を選択し、浴室リモコンの場合は「暖房」を表示させます。

- 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。



## 4 ▼または▲スイッチを押して、「入」を表示させます。

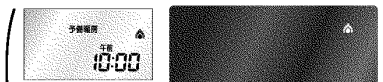
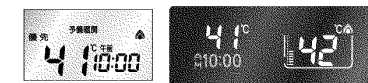
- ※暖房燃焼中は、表示画面に右図のような燃焼表示(▲)が出ます。



※この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出るがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

## 5 **選択**スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして設定が完了します。
- ※**選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。
- ※給湯暖房機のリモコンで予備暖房運転を行う為には、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。



(運転スイッチが「切」の場合)

## 6 浴室暖房をやめたいときは

- 前ページの1～3の操作を行い、▼または▲スイッチを押して「切」を表示します。
- ※浴室暖房の「入」「切」の設定はリモコンの**入**スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。

台所・増設リモコン



浴室リモコン



### ■浴室暖房乾燥機の温度調節は？

- ・このリモコンでは浴室暖房乾燥機の暖房運転の「入」「切」のみ行うことができます。温度調節その他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。
- ・このリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を「入」にした場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには何も表示されず「切」のままになっています。温度調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンの運転スイッチも「入」にしてから行ってください。

### ■予備暖房運転とは？

- ・冬期の一番ぶるのように浴室が冷えているとき、あらかじめ入浴前に予備暖房(温風によって浴室を暖める)をしておくと、入浴時に感じる肌寒さをやわらげてくれます。



- ・運転開始は入浴される約30分前から行ってください。
- ・予備暖房時間は、浴室の種類や大きさ・気温や湿度によって異なります。浴室暖房乾燥機のリモコンで設定調整してください。

### ■浴室暖房以外の暖房の使いかたは？ 放熱器や床暖房リモコンで操作します。

#### △警告

- パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方
  - ・疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
  - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方

#### △注意

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、温度調節つまみをお好みの温度にします。(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

- 暖房運転中は表示画面にふる燃焼表示(▲)が点灯します。(時刻表示は台所リモコン設置時のみ) **36**

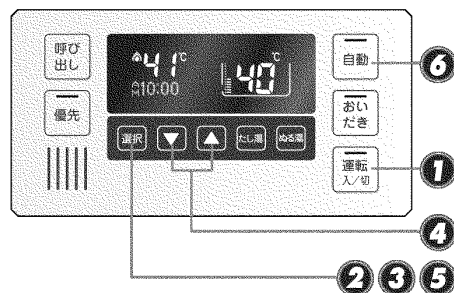


## 浴室暖房をふろ自動運転と連動するには

- 浴室リモコンで設定します。  
(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)
- ふろ湯はり運転を開始すると同時に、浴室暖房乾燥機の暖房運転を開始(連動)することができます。



浴室暖房乾燥機の暖房時間の変更については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書をご覧ください。



### 1 運転スイッチのランプ(緑)が点灯していることを確認します。

- 運転「切」でも設定することができます。



### 2 選択スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。



### 3 選択スイッチを押して、「連動」を表示させます。



### 4 ▼ または ▲ スイッチを押して、「入」を表示させます。

### 5 選択スイッチを押します。

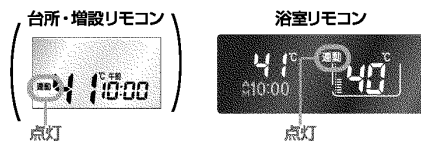
- 「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。

※**選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

※浴室暖房をふろ自動運転と連動するには、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。

- 連動スイッチの設定は、リモコンの運転スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。
- 再度「入」にするときは①～③の操作を行った後で、▼または▲スイッチを押して「切」にしてください。

・お風呂を沸かすときは、浴槽に排水栓とフタをしてから、次ページの⑥の操作を行ってください。(次ページの⑤の操作は台所・増設リモコンでも行えます)



## 動するには

### 6 自動スイッチを押します。

- 「お湯はりをします」とお知らせして、浴槽に湯はりを始めます。
- 浴室暖房乾燥機も運転を開始します。

※浴室暖房運転は自動運転終了(自動スイッチのランプ消灯)または浴室暖房乾燥機のリモコンで設定された時間が経過すると終了します。自動運転の長さは保温時間(20ページ参照)で決まります。

※途中で止めたいときには、浴室暖房乾燥機のリモコンを「切」にするか、35ページの「浴室暖房をするには」の手順に従って操作し、②の手順で「切」を表示させて、浴室暖房運転を「切」にしてください。

- 連動スイッチの設定を「入」の状態①と③の操作を行うと、ふろ自動運転と連動して毎回浴室暖房運転を行います。

台所・増設リモコン



浴室リモコン

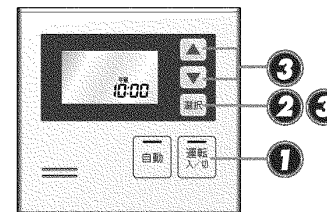


## 暖房の運転音を下げるには

- 台所リモコンで設定します。

### 1 運転スイッチのランプ(緑)が消灯していることを確認します。

- 点灯している場合は**選択**スイッチを押します。
- ※運転「切」の状態でのみ設定できます。



### 2 選択スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて**選択**スイッチを押して「静音」を選択します。

- 選択されているメニューは点滅します。

台所・増設リモコン



### 3 ▼ または ▲ スイッチを押して、「入」を表示させ、**選択**スイッチを押します。

- 「設定しました」とお知らせして設定が完了します。
- ※**選択**スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。
- 設定を解除するときは①～③の操作を行った後で、▼または▲スイッチを押して「切」にしてください。



・通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、「入」にすることで暖房能力を少し低下させて熱源機の運転音を下げることができます。ただし、暖房能力が低下したぶんだけ暖房の立ち上がりは悪くなります。





# 冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

## △ 注意

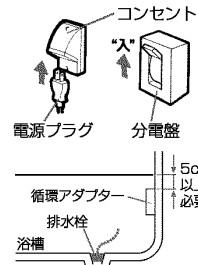
- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（-15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その①では凍結予防ができません。このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

## 対策その① 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

- この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ・暖房側）が組み込まれています。

### ■お客様に行っていただきたいこと

- 1.電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
  - 抜けているとヒータ・ポンプとも作動しませんのでご注意ください。
- 2.浴槽の残り湯が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。
  - 機器が外気温を感知し、自動的にポンプ運転を行います。

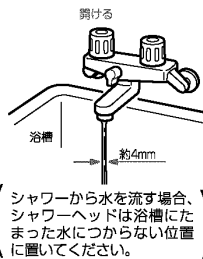


## 対策その② 給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろ・暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その①同様電源プラグをコンセントから抜かず、浴槽の循環アダプターより5cm以上上まで残り湯があることを確認してください。

### ■操作のしかた

- リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ガス栓が全開になっていることを確認してください。（暖房の凍結防止のため）
- 浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。
- ※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
- ※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
- ※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



## △ 注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分くらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご確認ください。



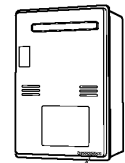
### 暖房の凍結予防について

- 外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃烧して暖房水を循環させて、凍結を予防します。（電源プラグをコンセントから抜かないでください）
- 「※」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- 暖房の凍結予防運転中は排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

## 対策その③ 水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。
- ※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときのみ行ってください。不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。



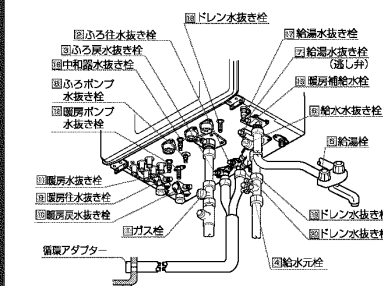
不凍液の確認  
不凍液が入っている場合は、  
「不凍液が入っています」  
というラベルが張ってあります。

### ■給湯側・ふろの順で行います。

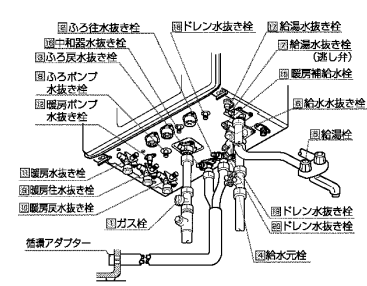
#### 1.給湯側の水抜き

- ①ガス栓①を閉めてください。
- ②給水元栓④を開けてください。
- ③給湯栓⑤をすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
- ④給水水抜き栓⑥・給湯水抜き栓⑦⑧を左に回してはずしてください。

#### (熱動弁内蔵タイプ)



#### (熱動弁外付けタイプ)



(⑱・⑲・⑳ ドレン水抜き栓がない機種もあります。)

# 冬期の凍結による破損防止について

## 2. 風呂側の水抜き

- ①ガス栓<sup>①</sup>を開けてください。
- ②給水元栓<sup>②</sup>が閉めてあることを確認してください。
- ③浴槽の水を完全に排水してください。
- ④浴室リモコン運転スイッチを押して(「入」にする)ください。※表示画面が点灯します。
- ⑤浴室リモコンのおいだしスイッチを押して(「入」にする)、浴槽の循環アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。
- ⑥排水が止まったら再度おいだしスイッチを押して(「切」にする)ください。  
※すぐに排水が止まった場合でも、最初においだしスイッチを押してから約3分はそのまましておいてください。  
※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。
- ⑦ふる往水抜き栓<sup>⑦</sup>・ふる戻水抜き栓<sup>⑧</sup>・ふるポンプ水抜き栓<sup>⑨</sup>を左に回してはずしてください。
- ⑧中和器水抜き栓<sup>⑩</sup>・ドレン水抜き栓<sup>⑪</sup>・⑫を左に回してはずしてください。(⑬・⑭・⑮がない機種もあります)
- ⑨ガス栓<sup>⑯</sup>を閉めてください。



・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。  
・風呂の水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

お願い

## 暖房側の水抜き

- ※暖房側の(水抜き)は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを「切」にする)ときのみ行ってください。  
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。
- ①ガス栓<sup>①</sup>が閉めてあることを確認してください。
  - ②給水元栓<sup>②</sup>が閉めてあることを確認してください。
  - ③暖房水抜き栓<sup>③</sup>・④・⑤・暖房ポンプ水抜き栓<sup>⑥</sup>を左に回してはずしてください。  
※リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。
  - ④電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

## (水抜き)をした機器を、次に使うときは…

### 1. 機器給湯側に通水してください。

- ①給湯栓<sup>①</sup>をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
- ②給水水抜き栓<sup>②</sup>・給湯水抜き栓<sup>③</sup>・④を閉めてください。
- ③給水元栓<sup>⑤</sup>を全開にしてください。
- ④給湯栓<sup>⑥</sup>を開け通水を確認した後、給湯栓<sup>⑦</sup>を閉めてください。

### 2. 機器風呂側に通水してください。

- ①ふる往水抜き栓<sup>⑧</sup>・ふる戻水抜き栓<sup>⑨</sup>・ふるポンプ水抜き栓<sup>⑩</sup>をすべて閉めてください。
- ②暖房水抜き栓<sup>⑪</sup>・⑫・⑬・暖房ポンプ水抜き栓<sup>⑭</sup>をすべて閉めてください。
- ③中和器水抜き栓<sup>⑮</sup>・ドレン水抜き栓<sup>⑯</sup>・⑰・⑱を閉めてください。(⑲・⑳・㉑がない機種もあります)
- ④電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)
- ⑤ガス栓<sup>㉒</sup>を全開にしてください。
- ⑥リモコンの自動スイッチを押す(「入」にする)と自動的に注水されます。  
※表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。
- ⑦もう一度自動スイッチを押す(「切」にする)と、湯はりを中止します。  
※通水後初めて暖房・自動・おいだしを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。



再度使う場合の(通水)は、給湯側から行ってください。

お願い

# 点検・お手入れのしかた

## 点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

### ■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器のまわりや排気口・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。
- 定期点検のおすすめ（有料）  
ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。  
なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4年～6年に1回程度をおすすめします。点検はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。



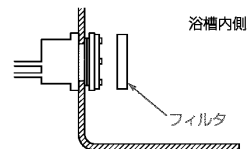
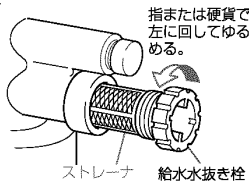
水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

### ●不凍液の点検と交換(有料)

- 不凍液は1年に1回は濃度や汚れなどの点検を、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。
  - 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換のめやすは約2年に1回です。
- ※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

### ■お手入れ方法は

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。台所・増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
- 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。
- ※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。
- 機器の給気口（フロントカバーの穴）がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- フィルタのお手入れは  
フィルタをはずし、こまめに掃除してください。  
フィルタは手ではずせません。  
掃除後は必ずフィルタをもと通りに取り付けて使用してください。  
フィルタを取りはずしたまま使用すると、機器の故障の原因となります。



# 長期間使用しない場合は

長期間使用しない場合は次のことを行ってください。

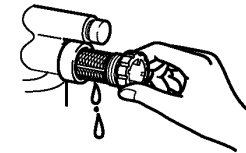
## 1 ガス栓を閉めます。



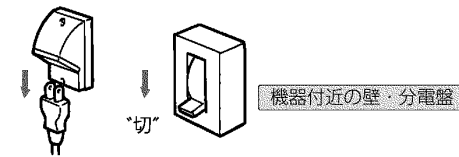
## 2 給水元栓を閉めます。



## 3 機器の水抜きをします。(40～41ページ参照)



## 4 電源プラグを抜きます。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)



### ⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

## 「温度」に関する内容

こんなとき	点検項目	参照ページ
給湯栓を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ 給湯栓は十分に開いていますか？ ガスメータ（マイコンメータ）がガスをシャ断していませんか？ LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？ 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？ (43ページ) 凍結していませんか？ 運転スイッチは「切」になっていませんか？	
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。	
低温のお湯が出ない	ガス栓・給水栓が全開になっていますか？ 給湯温度設定は適切ですか？ (29・30ページ) お湯の量を絞っていませんか？ 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 夏期などの水温が高いときには、設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが、異常ではありません。	
高温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 給湯温度設定は適切ですか？ (29・30ページ) 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 自動運転の湯はり中やたし湯運転中に台所などでお湯を使うと、リモコンの表示はそのままでふる設定温度のお湯が出ます。また、湯はり・たし湯運転終了後一旦お湯の使用をやめるまでは、やけど防止のためふる設定温度のお湯がでます。	
給湯栓を絞ると水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。	
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？ (30ページ)	
ふる設定温度どおりに沸き上がらない	ふる温度設定は適切ですか？ 浴槽の循環アダプターのフィルタにゴミや毛髪が詰まっていますか？ (43ページ) お湯はり中にふる温度を低く設定しなおした場合は、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなる場合があります。	
暖房運転中、放熱器が止まったり温度が下がったりする	おいだき中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。 放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	
ゆらぎのシャワーができない ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	夏期などは、給水温が高くゆらぎのシャワーの効果を得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。	
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか？ (31・32ページ) 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障（水量制御装置）ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	

## 「湯はり・湯量」に関する内容


こんなとき	理由	参照ページ
給湯栓から出るお湯の量が変わる	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。	
湯はりの量が設定した湯量にならない	浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？ (43ページ) 湯はり中に台所などでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 湯はり量の設定は適切ですか？ (21・22ページ) 浴槽の残り湯がある状態で湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。 お風呂の排水栓はしっかりと閉めてありますか。 お風呂の自動運転が完了しないうちに自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 〈全自動タイプの場合〉 上記を確認しても、設定した湯量にならない場合、50ページの手順で記憶している浴槽のデータを消去後、自動運転を行い、再度記憶させてください。	
オーバーフロー口からお湯が少しの間出ることがある	断水の後や機器の水抜きをした後に再度ご使用の場合、少しの間お湯が出ることがありますが異常ではありません。ただし、連続して出続ける場合は、機器の故障が考えられますので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。	

## 「音」に関する内容

こんなとき	理由	参照ページ
出湯停止後しばらくの間ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。	
浴槽の循環アダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がすることがある	おいだき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。	
ポンプの回転音（ウーン）がする	おいだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 お風呂の自動沸かしの予約時、予約時刻の約30分前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴槽の水を循環させます。 長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときには支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1カ月ごと)	
リモコンの運転スイッチ「入」「切」や給湯栓の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音がする	再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。異常ではありません。	
浴室で水が排出される音がする場合があります	機器によって、機器内部で発生した結露水を浴室まで導いた配管から排水します。その際に、発生する音で異常ではありません。	
暖房運転中や停止後およびふるのおいだきのあと、しばらくするとモーターが動く音（ブーン）がする。	再使用時に備えて機器が作動している音です。異常ではありません。	

# 故障かな？と思ったら

## 「リモコン」に関する内容

こんなとき	理由	参照ページ
運転ランプが点灯しない	停電していませんか？ 電源プラグが差し込まれていますか？ 機器内の漏電安全装置が作動していませんか。一旦分電盤の専用スイッチを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから再操作してください。	
リモコンの時刻表示が「-:-」になっている	停電後、再通電すると台所リモコンの表示画面の時刻が「-:-」になります。再度設定しなおしてください。 (15ページ)	
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。 (29・30ページ)	
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	セーブモードの設定にしてある場合、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えます。 (16ページ) 再使用したりいずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。	
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない	表示の節電（セーブモード）がはたらいているときに▼▲  スイッチを押すと、いったん表示節電画面から給湯温度表示画面に戻り、もう1度押すとそのスイッチの動作をします。 (16ページ) 運転スイッチの「入」・「切」は、運転スイッチのランプ（緑）の点灯・消灯を確認してください。	

## その他

こんなとき	理由	参照ページ
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。 (49ページ)	
使用中に消火した	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ 給湯栓は十分に開いていますか？ ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか？ LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？	
排気口・排気筒トップから白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が白い湯気に見えますが、故障ではありません。特に高効率タイプの機器ではこの現象が多く起こります。また、お湯を使っていなくても、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。	
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違ってまったく無害なものです。	
自動運転の湯はり完了まで通常より時間がかかる	お風呂の自動運転中にお湯を使った場合、お湯ほりに使うお湯の一部を給湯で使うため、お湯ほりに時間がかかります。 また、夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量（水位）まで水はり後おいだき運転を行うことがあるため、沸き上げるのに時間がかかることがあります。	
おいだきができない おいだき中に消火した	浴槽の循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？ (43ページ)	
浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。	
お風呂を使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯がでる	浴槽のお湯（水）を排水したあと、「セルフクリーニング機能」がはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。 (26ページ)	
おいだき配管の「セルフクリーニング機能」がはたらかない	次の場合は「セルフクリーニング」ははたらきません。 ・運転スイッチ「切」の場合 ・ふる自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・おいだき運転で水からお風呂を沸かし上げたあと ・洗濯注湯ユニットの使用または使用したあと （注湯のモードによっては、はたらく場合もあります）	
逃し弁（40ページの図中の⑦）からお湯（水）が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。	
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	給水配管が新しい場合や水質によっては、微量の銅イオンがお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタイルなどが青く着色することがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤などで洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。	


※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

# 故障かな?と思ったら

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下図のような故障表示が点滅します。故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

**1** ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認します。

全開にする



ガス栓 給水元栓


機器の下部

**2** お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

全開にする



**3** 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



**4** 再び使用してみてください。

上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
032	自動お湯お湯める湯	163	自動お湯お湯める湯	321	給湯自動(お湯お湯める湯)	523	自動お湯お湯める湯	721	給湯自動(お湯お湯める湯)		
101	給湯自動	170	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	322	自動お湯お湯める湯	543	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	723	給湯・暖房自動お湯お湯める湯		
103	自動お湯お湯める湯	173	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	323	自動お湯お湯める湯	611	給湯・自動お湯お湯める湯	901	給湯自動		
111	給湯自動お湯お湯める湯	190	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	331	給湯自動お湯お湯める湯	613	給湯自動お湯お湯める湯	991	給湯自動		
113	自動お湯お湯める湯	252	自動	430	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	632	自動お湯お湯める湯	920	給湯・自動お湯お湯める湯		
121	給湯自動お湯お湯める湯	290	給湯・自動お湯お湯める湯	432	自動	640	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	930	給湯・自動お湯お湯める湯		
123	自動お湯お湯める湯	310	給湯・暖房自動お湯お湯める湯	433	自動お湯お湯める湯	643	自動お湯お湯める湯	903	自動お湯お湯める湯		
140	給湯自動お湯お湯める湯	312	自動お湯お湯める湯	502	自動お湯お湯める湯	662	自動お湯お湯める湯	993	自動お湯お湯める湯		
161	給湯自動(お湯お湯める湯)	313	自動お湯お湯める湯	521	給湯自動お湯お湯める湯	710	給湯自動お湯お湯める湯				

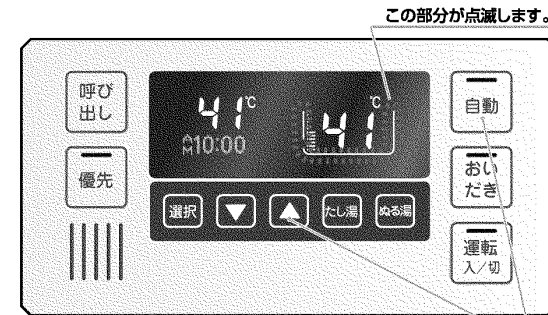
101・103を表示しているときは、お湯や暖房を使うことはできませんが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態となります。また、920を表示している場合についても、しばらくの間はお湯や暖房を使用できますが、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

# 機器移設の再設定

全自動タイプをお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の△スイッチを押しながら、□スイッチを1秒以上押し続けてください。記憶内容が消去され、下図のように浴槽のマークが点滅します。



△スイッチを押しながら□スイッチを1秒間以上押す。(運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」、通常表示状態で操作)

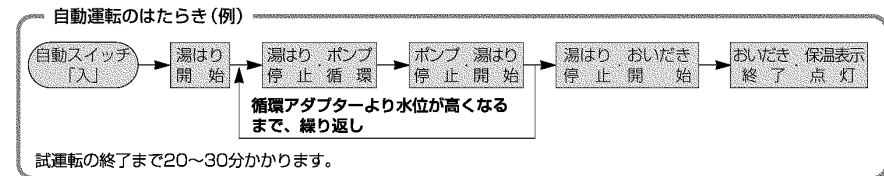
2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。

浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くなったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はり開始されます。

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。運転中何回か停止しますが異常ではありません。



試運転の終了まで20~30分かかります。

5. 試運転が完了し、浴槽サイズと水位を記憶しました。



# 主な仕様・能力表

品名	135-R210	135-R214	135-R212	135-R215	135-R216	135-R217
型名	RUFHKP2402AW2-6	RUFHKP2402AA2-6	RUFHKP2402AT2-6	RUFHKP2402AB2-6	RUFHKP2402AU2-6	RUFHKP2402AF2-6
型式名	RUFHK2402AW(SAW)	RUFHK2402AA(SAA)	RUFHK2402AT(SAT)	RUFHK2402AB(SAB)	RUFHK2402AU(SAU)	RUFHK2402AF(SAF)
設置方式	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または PS(室内)アルコープ設置 側方排気型	屋外壁掛設置または パイプシャフト(室内)設置 前方排気型	パイプシャフト(室内)設置 後方排気型	屋外壁掛設置または パイプシャフト(室内)設置 上方排気型	パイプシャフト(室内)設置 強制給排気型
外形寸法 (mm)	幅 480 × 奥行 250 × 高さ 750					
質量 (kg)	49					
温度調節	室温 温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃) 浴室 温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
調ふ	室温 温度設定可変型 (約 37℃～約 48℃)					
節電	2 温度型 (約 80℃ および約 60℃)					
点火方式	AC100V 連続放電式 (ダイレクト点火)					
接ガ	給水 給湯 20A(R3/4) 暖房 (往 戻) 低温往: QF ジョイント用継手、左記以外: QF16 ジョイント用継手 ふる (往 戻) QF16 ジョイント用継手 オーバーフロー 15A(R1/2) ドレン排出 QF ジョイント用継手 電源 AC100V リモコン側 DC24V 以下					
消費電力 (50/60Hz)	運転 SW「入」: 約 5.5W、セーブモード時: 約 2.7W、運転 SW「切」: 約 2.3W (L/E コンセント: 138-R310 シリーズ接続時) 260/280 運転 SW「入」: 約 4.2W、セーブモード時: 約 2.0W、運転 SW「切」: 約 1.9W (L/E コンセント: 138-R005 シリーズ接続時) 285/310					
凍結予防運転	200 (凍結予防ヒーターのみ)、330 (凍結予防運転時最大)					
電源ケーブル	VCT/VCT または VCTF(2 心)					
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 過圧防止安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置 暖房ポンプ回転検出装置					

\*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A 共通)	1 時間当たりのガス使用量: kW ( ) 内は kcal/h		出湯能力 (能力最大): L/min			
	同時使用時	給湯	暖房	25℃上昇	40℃上昇	
都市ガス用	13A	64.8(55,700)	44.2(38,000)	20.6(17,700)	24.0	15.0
	12A	60.4(51,900)	41.2(35,400)	19.2(16,500)	22.3	13.9

\*出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	135-R220	135-R224	135-R222	135-R225	135-R226	135-R227
型名	RUFHKP2402AW2-1	RUFHKP2402AA2-1	RUFHKP2402AT2-1	RUFHKP2402AB2-1	RUFHKP2402AU2-1	RUFHKP2402AF2-1
型式名	RUFHK2402AW(SAW)	RUFHK2402AA(SAA)	RUFHK2402AT(SAT)	RUFHK2402AB(SAB)	RUFHK2402AU(SAU)	RUFHK2402AF(SAF)
設置方式	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または PS(室内)アルコープ設置 側方排気型	屋外壁掛設置または パイプシャフト(室内)設置 前方排気型	パイプシャフト(室内)設置 後方排気型	屋外壁掛設置または パイプシャフト(室内)設置 上方排気型	パイプシャフト(室内)設置 強制給排気型
外形寸法 (mm)	幅 480 × 奥行 250 × 高さ 750					
質量 (kg)	49					
温度調節	室温 温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃) 浴室 温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
調ふ	室温 温度設定可変型 (約 37℃～約 48℃)					
節電	2 温度型 (約 80℃ および約 60℃)					
点火方式	AC100V 連続放電式 (ダイレクト点火)					
接ガ	給水 給湯 20A(R3/4) 暖房 (往 戻) QF16 ジョイント用継手 ふる (往 戻) QF16 ジョイント用継手 オーバーフロー 15A(R1/2) ドレン排出 QF ジョイント用継手 電源 AC100V リモコン側 DC24V 以下					
消費電力 (50/60Hz)	運転 SW「入」: 約 5.5W、セーブモード時: 約 2.7W、運転 SW「切」: 約 2.3W (L/E コンセント: 138-R310 シリーズ接続時) 260/280 運転 SW「入」: 約 4.2W、セーブモード時: 約 2.0W、運転 SW「切」: 約 1.9W (L/E コンセント: 138-R005 シリーズ接続時) 285/310					
凍結予防運転	200 (凍結予防ヒーターのみ)、330 (凍結予防運転時最大)					
電源ケーブル	VCT/VCT または VCTF(2 心)					
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 過圧防止安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置 暖房ポンプ回転検出装置					

\*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A 共通)	1 時間当たりのガス使用量: kW ( ) 内は kcal/h		出湯能力 (能力最大): L/min			
	同時使用時	給湯	暖房	25℃上昇	40℃上昇	
都市ガス用	13A	64.8(55,700)	44.2(38,000)	20.6(17,700)	24.0	15.0
	12A	60.4(51,900)	41.2(35,400)	19.2(16,500)	22.3	13.9

\*出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

# 主な仕様・能力表

品名	135-R250	135-R254	135-R252	135-R255	135-R256	135-R257
型名	RUFH-K2402AW2-6	RUFH-K2402AA2-6	RUFH-K2402AT2-6	RUFH-K2402AB2-6	RUFH-K2402AU2-6	RUFH-K2402AF2-6
型式名	RUFH-K2402AW(SAW)	RUFH-K2402AA(SAA)	RUFH-K2402AT(SAT)	RUFH-K2402AB(SAB)	RUFH-K2402AU(SAU)	RUFH-K2402AF(SAF)
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置					
外形寸法 (mm)	幅 480 × 奥行 250 × 高さ 750					
質量 (kg)	48					
温度調節	室温 温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
給湯	温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
調節	温度設定可変型 (約 37℃～約 48℃)					
節電	2 温度型 (約 80℃ および約 60℃)					
点火方式	AC100V 連続放電式 (ダイレクト点火)					
接続	12A/13A : 20A(R3/4), LPG : 15A(R1/2)					
給水給湯	20A(R3/4)					
暖房 (往戻)	低温往 : QF ジョイント用継手、左記以外 : QF16 ジョイント用継手					
ふる (往戻)	QF16 ジョイント用継手					
排水	15A(R1/2)					
電源	AC100V					
リモコン側	DC24V 以下					
消費電力 (50/60Hz)	運転 SW「入」: 約 5.5W、セーブモード時: 約 2.7W、運転 SW「切」: 約 2.3W (リモコンセット: 138-R310 シリーズ接続時)					
同時使用	運転 SW「入」: 約 4.2W、セーブモード時: 約 2.0W、運転 SW「切」: 約 1.9W (リモコンセット: 138-R005 シリーズ接続時)					
凍結予防運転	260/280 285/310					
電源ケーブル	200 (凍結予防ヒーターのみ)、330 (凍結予防運転時最大)					
電源ケーブル	VCT/VCT または VCTF(2心)					
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 過圧防止安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置 暖房ポンプ回転検出装置					

\*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A 共通)	1 時間当たりのガス使用量: kW ( ) 内は kcal/h	出湯能力 (能力最大): L/min			
		同時使用時	給湯	暖房 25℃ 上昇 40℃ 上昇	
都市ガス用	13A 64.8(55,700) 12A 60.4(51,900)	44.2(38,000) 41.2(35,400)	20.6(17,700) 19.2(16,500)	24.0 22.3	15.0 13.9
LP ガス用	64.8(4,63kg/h)	44.2(3,16kg/h)	20.6(1,47kg/h)	24.0	15.0

\*出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	135-R260	135-R264	135-R262	135-R265	135-R266	135-R267
型名	RUFH-K2402AW2-1	RUFH-K2402AA2-1	RUFH-K2402AT2-1	RUFH-K2402AB2-1	RUFH-K2402AU2-1	RUFH-K2402AF2-1
型式名	RUFH-K2402AW(SAW)	RUFH-K2402AA(SAA)	RUFH-K2402AT(SAT)	RUFH-K2402AB(SAB)	RUFH-K2402AU(SAU)	RUFH-K2402AF(SAF)
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置 屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置					
外形寸法 (mm)	幅 480 × 奥行 250 × 高さ 750					
質量 (kg)	48					
温度調節	室温 温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
給湯	温度設定可変型 (約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
調節	温度設定可変型 (約 37℃～約 48℃)					
節電	2 温度型 (約 80℃ および約 60℃)					
点火方式	AC100V 連続放電式 (ダイレクト点火)					
接続	12A/13A : 20A(R3/4), LPG : 15A(R1/2)					
給水給湯	20A(R3/4)					
暖房 (往戻)	QF16 ジョイント用継手					
ふる (往戻)	QF16 ジョイント用継手					
排水	15A(R1/2)					
電源	AC100V					
リモコン側	DC24V 以下					
消費電力 (50/60Hz)	運転 SW「入」: 約 5.5W、セーブモード時: 約 2.7W、運転 SW「切」: 約 2.3W (リモコンセット: 138-R310 シリーズ接続時)					
同時使用	運転 SW「入」: 約 4.2W、セーブモード時: 約 2.0W、運転 SW「切」: 約 1.9W (リモコンセット: 138-R005 シリーズ接続時)					
凍結予防運転	260/280 285/310					
電源ケーブル	200 (凍結予防ヒーターのみ)、330 (凍結予防運転時最大)					
電源ケーブル	VCT/VCT または VCTF(2心)					
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 過圧防止安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置 暖房ポンプ回転検出装置					

\*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A 共通)	1 時間当たりのガス使用量: kW ( ) 内は kcal/h	出湯能力 (能力最大): L/min			
		同時使用時	給湯	暖房 25℃ 上昇 40℃ 上昇	
都市ガス用	13A 64.8(55,700) 12A 60.4(51,900)	44.2(38,000) 41.2(35,400)	20.6(17,700) 19.2(16,500)	24.0 22.3	15.0 13.9
LP ガス用	64.8(4,63kg/h)	44.2(3,16kg/h)	20.6(1,47kg/h)	24.0	15.0

\*出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。